

キラッと輝く合志人

心を震わせる一瞬を切り取って

写真家 江口 伸生さん（武蔵野台）



天体や飛行機など被写体に関する知識も常に高め続けています

1月、熊本市で江口さんの個展が開催された。ひっきりなしに訪れるお客さんは、江口さんの作品に感嘆の声を上げる。

本格的に写真を撮り始めて40年。始めは水中写真を撮影していた。陸上での風景写真を撮り始めたのも、水中用カメラの試し撮りからだ。そのうちに熊本の風景と、歴史や文化の奥深さに惹かれていったんです。

江口さんの写真は青、赤と色鮮やか。被写体には山や星などの自然の他、飛行機や船などみんなに馴染みのあるものを選ぶことも多い。それはこだわりの一つでもある。「一目見て誰にでも分かりやすく伝わりやすい写真」を心掛けています。

小池区の特別養護老人ホーム「菊香園」でも写真を展示した。「母が施設でスタッフの皆さんにお世話になったので、その恩返しにと思って始めました」。施設のスタッフの皆さんに楽しんでもらえるようにという思いが、こだわりにつながっている。

「いろいろな景色を見てもらいたい。普段は見られない景色を見てほしいです」。最高の瞬間を撮るために、気象条件や地形だけでなくその地に関連する歴史や文化まで、下調べを入念に行なう。そして夜中でも早朝でも、じっくりとシャッターを切る瞬間を待つ。「星を見たり自然に触れたりしている間に写真が撮れればいい。撮れなくても雰囲気を楽しめるので、待つのも苦ではありません」

今後は菊香園以外の施設でも写真を展示していければいいという江口さん。「きれいなものは世界中にたくさんあります。でもそれだけじゃなくて、見た人にパワーを感じてもらえる写真を撮りたいと思っています。そのためには、まずは自分が感動できること。そしてたくさんの人にパワーを感じてもらえることを願っています」

江口さんが追い続けるのは、人の心を震わせる一瞬だ。



あなたの周りの合志人を探しています
企画課 企画広報班（合志庁舎） ☎248-1813

あなたの周りにいるキラッと輝く合志人を紹介してください。
たくさんの紹介をお待ちしています。

人の動き

人口……62,215 (+ 56)
世帯……24,384 (+ 8)

出生…46 (- 7) 転入…210 (- 1)
死亡…38 (- 14) 転出…162 (+ 5)

※12月末現在（ ）内は前月比

いろいろな行事がそうであるように、成人式も平成最後でした。平成に生まれ、平成を生きてきた新成人の皆さん。これからどんな人生を歩み、どんな時代をつくっていくか楽しみです。

自分の若いころは…という話はあまり好まれないかもしれませんが、私は成人式の前撮りのとき、お見合いにも使えるようにという裏テーマのもと撮影してもらったらしいです。（周囲のご厚意で、です。自分で希望してではないはず）

使ってみようかな。何年前の写真なのかは内緒ですが。

2月は逃げる、3月は去る。月日の経つのは早いものです。21世紀になって約20年、平成ももうすぐ終了します。ボヤボヤしていれば取り残される、社会の動きを見誤れば努力が報われない。不安が募ります。

先が見えない世の中にあつて、自分の軸を持ち、正しいものを見極める目を持つて、希望ある人生を送りたいもの。そういえば、20歳くらいの時にも同じことを考えていたような？ あれ、成長していない？

高野 小山

和顔愛語

